アクラス日本語教育研究所 20190621

「きもち・権力・会話」の文法を考える

定延利之

謝辞・紹介

・ご招待くださった嶋田和子先生ほか関係者の皆様に感謝いたします。

・この講演は，日本学術振興会の科学研究費補助金による基盤研究（(A)23242023・(A)15H02605・(B)17KT0059，研究代表者：定延利之），国立国語研究所の共同研究プロジェクト「対照言語学の観点から見た日本語の音声と文法」（プロジェクトリーダー：窪薗晴夫），「日本語学習者のコミュニケーションの多角的解明」（プロジェクトリーダー：石黒圭）の成果の一部を含んでいます。

言いたいこと1：これまでは組み合わせの文法だけ

これまでの文法は，ただひたすらに「組み合わせの文法」だった。

「ことばはことばと組み合わさり，状況と組み合わさって発せられる。ことばに不自然さがあるとすれば，それは組み合わせが悪いのだ」と考えられてきた。

日本語だけではない。世界の諸言語を見渡しても，不自然なことばに対して言語学者が下す診断はただひとつ，「組み合わせ不全」，これだけだった。

品詞上の組み合わせ

(1) a.　旅行するのが好きです。

b.　旅行が好きです。

c.??旅行するが好きです。

組み合わせの順序

修飾部と被修飾部を組み合わせる場合

(2) a.　動物病院

b.??病院動物

c.　白い山

d.??山白い

e.　私が見た映画

f.??映画私が見た

意味上の組み合わせ

(3) a.　そいつに水をやる。

b.　そのお方に水をさしあげる。

c.??そいつに水をさしあげる。

（皮肉の意味はあるが）

音韻上の組み合わせ

(4) a.　たこ
　　b.　ゆでだこ
(5) a.　たまご
　　b.??ゆでだまご
　　c.　ゆでたまご

ライマンの法則 (Lyman's law)

場面との組み合わせ

(6) a.［会話を始めようとして］
　　もしもし。
　　b.［電話会話の途中で通信状態が悪くなって］
　　もしもし。
　　c.［別れ際に］
　　??もしもし。

発音上の組み合わせ

(7) ??gtkdbfkqrsz

音声言語の文字言語に対する優位性 [Lyons 1981]

言いたいこと2：実はきもちの文法もある

実はことばの不自然さは，「組み合わせ不全」によるものの他に，「きもち欠乏症」があるのではないか。

きもちが（弱いのではなく）現れていないことを理由に，ことばが不自然になることもあるのではないか。

「きもち」とは？

- 心理学の「感情」や「情動」と近い。
- 音声科学で言う「感情音声」の「感情」や「態度」と近い。
- 文法研究で言う「ムード」や「陳述」と近い。
- 語用論で言う「表出性」と近い。
- それらとどう重なり，どうずれるのかは，よくわからない。
- が，非常に重要な概念なので，持ち出さざるを得ない。
- どうせ持ち出すなら，少しでも簡単に（ひらがなで）持ち出したい。ただそれだけ。

自立語がない発話ときもち欠乏症

(8)［「あの人って，話，長くない？」と訊かれて］

	○	vs. ×
a. だ。	1	43
b. だな。	43	1
c. だね。	42	2
d. だよな。	43	1
e. だよね。	44	0

自立語がない発話ときもち欠乏症（続）

(9)[「あの人って，話，長くない？」と訊かれて]

	○	vs. ×
a. です。	2	42
b. ですねぇ。	42	2
c. か。	2	42
d. かなぁ。	41	3

やはり組み合わせの問題？

(10) a.??か
b. か細い
c. か弱い

この「か」は，他のことばとの組み合わせが必要（接頭辞）。
「だ」「です」「か」も同様というだけの話？

そんなことはない　根拠1

(11) ［自称予言者が「みんな逃げろ。火星人が襲ってくるぞ」と発言］

	○	vs. ×
a. ［それを聞いた非信者が，傍らの仲間（やはり非信者）に，侮蔑も露わにせせら笑ってささやく］ だと。	41	3
b. ［それを聞いた信者が，傍らの仲間（やはり信者）に，急かすようにささやく］ だと。	19	25

そんなことはない　根拠2

(12)［自説の誤りを示す証拠を目の前にして，なおも虚勢を張って］

	○	vs. ×
a. ?［下降調で］だろう。わかってたよ。	20	24
b. だろうねぇ。わかってたよ。	41	3
c. ［上昇調で］だろう？ わかってたよ。	30	14

では組み合わせの文法ときもちの文法の関係は？

- きもちの文法は万能ではない。きもちを補給しさえすればいつでも文が自然になるわけではない。
- 補給されるきもちは、その場に合ったきもちでなければならない。
- 重度の組み合わせ不全は救済できない。

補給されるのはどんなきもちでもよいわけではない

(13) a. 雨だよ。
b. そりゃあ雨だろうよ。
c.[「あの人って，話，長くない？」と訊かれて]
??だよ。
d.[自説の誤りを示す証拠を前に，虚勢を張って，下降調で]
??だろうよ。

救済できるのは軽度の組み合わせ不全のみ

(14)［ある男性について，外国籍の人間であると言うつもりで］

a. 彼は外国人です。

b.??ですは彼人外国。

観察できる「領域」と「効果」がごく限られているなら観察されたものは大したことない？

領域：すぐ止まってしまわないよう，長さと重りと場所などを調整された特別な振り子の動きを長時間観察した場合にしかわからない。

効果：振り子のゆれる方向が少しずつ変わって見えるだけ。

~~結論：「地球の自転力」は大したことはない。~~
そんなことはない！

[Leon Foucault uses his pendulum to demonstrate the rotation of the Earth, at the Pantheon, Paris, 1851. @Mary Evans Picture Library.]

他にもあるきもち欠乏症1：「だ」「です」の共起

	○	vs. ×
(15) a. 雨だ。	44	0
b. 雨です。	44	0
c. ??雨だです。	1	43
d. ?雨だったです。	6	38
e. (?)雨だったですよね？	18	26

「だったです」の自然さをめぐる言説の例

(16) a. 日本語に関する質問：「だったです」は標準語ですか。「好きだったです」のように。。

最も役に立った回答：「だったのです(/だったんですspoken language)」なら説明口調の表現になりますが，「だったです」は正しい文法から微妙にずれているように感じます。
［https://hinative.com/ja/questions/4054004］

b. 「だったです」というのは正しい日本語ですか？ スポーツが好きでよく見るのですが，実況のアナウンサーやゲスト解説の方がよく使うんです。どうも気になってしまいます。「～だったですね～」とか「～だったですか？」とか。
［https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q10178252720］

c. Q（抜粋）：最近テレビで「立派だったです」という発言を目にし，（インターネットでみました）口に出してみてもしっくりきません。これは「立派でした」が普通なのでは？ しかし，インターネットでこの言葉を検索してみると，意外にも多く「立派だったです（よね，ね。）」が使われており，びっくりしています。文脈などによっては，「立派だったです」が使われることもあるのでしょうか？

A（抜粋）：「立派だったです。」はNGにしています。なぜそうしているか？というと，特に理由はなく，日本語の母語話者としての直感としか言いようがありません。
［http://nhg.pro.tok2.com/qa/keiyoushi-5.htm］

他にもあるきもち欠乏症2：自立語しかない発話（書きことばのみ。「声に出して読めない日本語」）

(17) a. 「より速く，より安全に」が運送の基本です。
b. (*v.v)。より速く，より安全に。それが運送の基本です。

(18) a. 事故の原因はタイヤの摩耗です。
b. (*v.v)。事故の原因。それはタイヤの摩耗です。

(19) a. 晩御飯，どうしますか？
b. (*v.v)。晩御飯。どうしますか？

(20) a. 3日目にとうとう連絡が来た。
b. (*v.v)。3日目。とうとう連絡が来た。

他にもあるきもち欠乏症3：終助詞の文中生起

(21) a. ［この依頼は誰からかと問われて］
大臣からです。

b.??大臣からです，

c. この親書を，大臣からですね，先方に，渡していただいてですね，……

従来から（部分的に）あった，きもちの文法の指摘1

(22) ［切符を落として気づかない相手に向かって］

	○	vs. ×
a. ?もしもし切符を落とされました。	17	27
b. もしもし切符を落とされましたよ。	44	0

［参考：蓮沼 1996・井上 1997］

その指摘はきもちの文法としてさらに一般化できる

「関連性の公理」(Maxim of Relevance, Grice 1975)の違反

(23) ［上司と雑談をしている社員が唐突に］

	○	vs. ×
a.??今朝，九州で地震がありました。	7	37
b. 今朝，九州で地震がありましたね。	43	1
c. 今朝，九州で地震がありましたよね。	43	1

従来から（部分的に）あった，きもちの文法の指摘2

疑似条件文［参考：三宅 2010］ 20 vs. 24

(24) a. ?お腹がすいているんだったら，冷蔵庫にプリンがある。
b. お腹がすいているんだったら，冷蔵庫にプリンがあるよ。
44 vs. 0

反事実条件文［参考：庵 2013］

(25) a. あの時私が助け（てい）なければ，彼は死んだ。27 vs. 17
b. あの時私が助け（てい）なければ，彼は死んだね。35 vs. 9

その指摘もきもちの文法としてさらに一般化できる

★「いま・ここ・現実が基本の公理」の違反

(26) ［自室で独り言］

	○	vs. ×
a. ?明日晴れてくれればうれしい。	16	28
b. 明日晴れてくれればうれしいなぁ。	44	0

(27) ［どんな味かと問われ，一口食べて］

a. からいー！	39	5	b. からいよー！ 43	1

(28) ［どんな味かと問われ，昔の経験を思い出して］

a. ?からいー！	5	39	b. からいよー！ 44	0

伝統的な考えは「反　いま・ここ・現実」が基本

「人間の言語（音声言語）は他のもの（動物のコミュニケーションシステムやモールス信号，文字言語など）とどう違っているのか？」という問題を検討。

人間の言語の特徴の一つとして「脱場面性」(displacement)を挙げた。

[Hockett 1960]

「実はいま・ここ・現実が基本」の根拠1：アニマシー

(29) a. いまここに希望者がいる。
b.??いまここに希望者がある。

(30) a. 希望者がいれば，あとでまとめて連絡して下さい。
b. 希望者があれば，あとでまとめて連絡して下さい。

「実はいま・ここ・現実が基本」の根拠2：アニマシー

(31) アニマシーの階層 [Croft 1990]
- a. 本来的なアニマシー
- b. 1人称・2人称で表現＞3人称で表現
- c. 代名詞で表現＞名詞で表現

(32) [「その森には夜に謎の青年が出没するらしい」と聞いて]
- a. 青年を見た人間が本当にいるのか？
- b.??彼を見た人間が本当にいるのか？［参照：田窪1989］

「実はいま・ここ・現実が基本の公理」の根拠2：他動性

(33) a. 水を飲む。
b.??水が飲む。

(34) a. 水を飲める。
b. 水が飲める。

「実はいま・ここ・現実が基本の公理」の根拠2：他動性

(35) 他動性の階層 [Hopper and Thompson 1980]
- a. 「するモノ」と「されるモノ」がある。
- b. はっきりした身体動作がある。
- c. 始期と終期が決まっている。
- d. 瞬間的である。
- e. 意図的である。
- f. 肯定文で表現される。
- g. 現実のデキゴトである。
- h. 「するモノ」の力が強い。
- i. 「されるモノ」の被る影響が大きい。
- j. 「されるモノ」がはっきりしている。

「いま・ここ・現実が基本の公理」の根拠3：「いま・ここ」を離れる「責任者」の特権的発話

(36) [車が動かない原因を探り当てて，後部座席の子供が]
- a. あ，ブレーキ踏んでる！ 47 0
- b.??あ，ブレーキ踏んでた！ 0 47

(37) [車が動かない原因を探り当てて，運転席の者が]
- a. あ，ブレーキ踏んでる！ 18 29
- b. あ，ブレーキ踏んでた！ 47 0

「いま・ここ・現実が基本の公理」の根拠3：「いま・ここ」を離れる「体験者」の特権的発話

(38) [ポットの湯気を見て，いま帰宅した者が]
- a. あ，お湯が沸いてる。 46 1
- b.??あ，お湯が沸いた。 9 38

(39) [ポットの湯気を見て，沸騰前を見ていた者が]
- a. あ，お湯が沸いてる。
- b. あ，お湯が沸いた。 47 0

反例に思えるものは実は反例ではない

(40) ［観光ガイドが宇和島城を見ながら］ こちらの宇和島城は，約400年前に大改修がおこなわれて現在の形になりました。 49/3/0

(41) ［一般的なシナリオ［ホテル建設→環境悪化→サンゴ死滅］を意識している話し手が，初めて訪れた離島にホテルを見て］ あ，ホテルが建った。この島もサンゴはもうダメだ。 0/1/51 → 9/3/40

(42) ［奥の居間にいるであろう家族に向かって，沸かしていた湯が沸いたぞ，という意味で］ おーい，お湯沸いたー。 32/6/14

［羅希・定延 近刊］

権力の影響

(43) [部下が上司に，唐突に]
a.??あと2か月で正月です。
b. あと2か月で正月ですねぇ。
(44) [上司が部下に，唐突に]
a. あと2か月で正月だ。
b. あと2か月で正月だなぁ。

会話の影響

(45) = (26) [自室で独り言]

a. ?明日晴れてくれればうれしい。	16	28
b. 明日晴れてくれればうれしいなぁ。	44	0

(46) X: 明日晴れてくれればうれしいか？
Y: 明日晴れてくれればうれしい。

言いたいこと3：権力・会話も文法に投入しよう

・文法に、きもちだけでなく、権力・会話も投入すれば、説明できる発話が増える。

・きもち・権力・会話のサポートを得ず、組み合わせの文法だけで成り立つ発話は確かに存在する。

・だが、それは業務発話や儀礼的な発話に限られる。

組み合わせの文法だけで成り立つ発話

(47) [出先から帰社した部下が上司に] ただいま戻りました。
(48) [従業員が来訪客にアナウンス] お客様に迷子のお知らせです。
(49) [通勤の途中で部下が上司を見かけて] おはようございます。
(50) = (22) [上司と雑談をしている社員が唐突に]
a.??今朝，九州で地震がありました。
b. 今朝，九州で地震がありましたね。
c. 今朝，九州で地震がありましたよね。
(51) [ニュース番組の中でアナウンサーが]
今朝，九州で地震がありました。

会話ときもちのサポートを共に得て成り立つ発話

(52) = (8)
[「あの人って，話，長くない？」と訊かれて]

a. だ。	1	43
b. だな。	43	1
c. だね。	42	2
d. だよな。	43	1
e. だよね。	44	0

節（文未満）の発話は権力・会話のサポート要

(53)[上司が部下に]
書類は先方に送っておいたから。

(54) [神官がいかめしい神に]
??異教徒は始末しておきましたから。

(55) 上位者： 泳いだの？
下位者： 滅多に無い機会でしたから。

文節（文未満）の発話は、きもち・権力・会話いずれかのサポート要

(56) a.［「臨時会議を開く。来い」と深夜に国王に電話で言われ，大臣が］？今から？

b.［「召集がかかった」と深夜に身支度をする大臣を見て，家来が］ 今から！

(57) a.［上位者に「大丈夫？」と言われ下位者が］ ご安心を。

b.［上位者に「沖縄に行ってた」と言われ下位者が］ 沖縄に。

語（文未満）の発話はきもち・権力・会話いずれかのサポート要

(58) a.［水を求める者の執着の発露］ 水ー！

b.［恐怖／物珍しさ／愛しさのあまり］ ネズミ！

(59) ［亭主関白な夫が妻に］ メシ。

(60) ［上位者に「沖縄に行ってた」と言われ下位者が］ 沖縄。

おわりに

- 言語学は現実の個別的な事情から離れて，文法（発話の規則性）を求めざるを得ない。その文法は一般的なものであるだけに，現実の発話にいつもよく当てはまるわけではない。魚の群泳パターンのようなもので，破られてしまうこともある。
- だが，文法が破られた時，その状況に（捕食者シャチの出現というような）特別なことが起きているなら，その文法は精度の低いナマクラ刀ではない。私たちの言語実態を正しくとらえた，リアルなものである。
- たとえ破られていなくとも，その状況について何事かを語るのが「生きた日本語」の文法だと言うべきかもしれない。

- 「もう，いつもそうなんだからぁ！」と，「から」節発話で上司にキレる部下の憤懣。あるいは親密な間柄での甘え。
- 「あと2か月で正月だ」と，上司が共同感慨へ誘っているのに，「ホントですねぇ」などと乗ってやらず，「そうですか」と切り捨てる部下の忙しさ。
- 「部長も，そうなさったら？」と，発話を文節で終えて平気な，目上を目上と思わぬ秘書。あるいは，それをまかり通らせる秘書の「愛されキャラ」。あるいは，自分は「愛されキャラ」なのでそれがまかり通ると思っている秘書の過信。
- 汚い話を聞かされ「不潔なー！」と絶句する男性の衝撃。今晩のおかずが麻婆ナスだったら，本当にどうしたらいいのだろう……。

「わたしのちょっと面白い話」エントリー作品から

2010008「麻婆ナス」

文献

- Croft, William. 1990. *Typology and Universals*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Grice, H. Paul. 1975. "Logic and conversation." In Peter Cole and Jerry L. Morgan (eds.), *Syntax and Semantics, vol. 3, Speech Acts*, pp. 41-58. New York: Academic Press.
- 蓮沼昭子 1996 「終助詞「よ」の談話機能」上田功・砂川有里子・高見健一・野田尚史・蓮沼昭子（編）『言語探求の領域―小泉保博士古稀危険論文集』pp. 383-395. 東京：大学書林.
- Hockett, Charles F. 1960. "The origin of speech." *Scientific American*, vol. 203, pp. 89–97.
- Hopper, Paul J., and Sandra A. Thompson. 1980. "Transitivity in grammar and discourse." *Language*, vol. 56, pp. 251-299.
- 庵 功雄 2013 「現代日本語における「ムード（接続法）」を表す表現に関する研究（その1）」関東日本語談話会2013年1月26日発表資料.
- 井上 優 1997 「「もしもし，切符を落とされましたよ」―終助詞「よ」を使うことの意味」『言語』第26巻第2号，pp. 62-67. 東京：大修館書店.
- 羅希（Luo Xi）・定延利之（近刊）「「た」形変化文を発する権利のありか」益岡隆志・高山善行・定延利之・井上優（編）『テクストと時間（仮）』東京：ひつじ書房.
- Lyons, John. 1981. *Language and Linguistics: An Introduction*. Cambridge: Cambridge University Press.［ジョン・ライアンズ（著），近藤達夫（訳）『言語と言語学』東京：岩波書店，1987］
- 三宅知宏 2010 「日本語の疑似条件文と終助詞」（発表），日本語文法学会第11回大会，2010年11月7日，於就実大学（『日本語文法学会第11回大会発表予稿集』所収．）
- 定延利之 近刊 『文節の文法』東京：大修館書店.
- 田窪行則 1989 「名詞句のモダリティ」仁田義雄・益岡隆志（編）『日本語のモダリティ』pp. 211-233. 東京：くろしお出版.